

# 北海道文教大学 後援会 会報

No.  
11

## CONTENTS

後援会活動報告	1
理事長・学長挨拶	2
就職課便り	3
平成24年度決算	4
平成25年度予算・事業計画	4
第15回北海道文教大学大学祭『榮凛祭』	4

平成25年9月25日(水)

発行責任者 石山武浩  
〒061-1449 北海道恵庭市黄金中央5丁目196番地の1  
発行係 北海道文教大学事務局学務部学生課内  
北海道文教大学後援会 TEL0123-34-0011

## 「平成二十五年度の後援会活動などについて」

北海道文教大学後援会会長 石山武浩



会員の皆様には日頃から後援会の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。ご承知のように、北海道文教大学後援会は、文教大学の建学の精神に則り、会員の皆様相互のご協力によって大学を後援し、その発展充実に寄与することを目的として、会員の皆様からお預かりした会費収入により、様々な事業を展開しています。後援会としては、微力ながら大学との連携を密にとり連帯を強め、会員の皆様には活動内容が見えて理解できる後援会事業を展開する中で、大学の後押しをしていきたいと思います。

さて、北海道文教大学は、地方都市という厳しい環境下にあって、進学校といわれる高校からの学生が多数入学し、優秀な人材が実学に励み、今年も多数の国家資格合格や就職者を輩出しました。これは、鈴木武夫学長以下、理事者、教職員が一丸となつて、優秀な学生を社会に輩出すべく日々邁進し、地域から信頼される学園を目指してきた成果の表れであると思います。後援会としては、学生・大学後援会が三位一体となつて北海道文教大学の充実・発展に寄与し、学生たちに安心して学生生活が送れる環境を提供できるよう、大学と足並みを合わせながら後援会事業を展開して行きたいと思えます。

この会報は、後援会事業の報告などを通して、会員の皆様に対するご理解を深めていただき、現状を伝え関心を持っていただくことを目的として、平成19年度から開始して今回で11号の会報となります。本号では、会員の皆様にお知らせしたい事柄やこれまでの事業の様子などについてご報告させていただきます。

### 「平成25年度 後援会総会について」

平成24年度より、入学式後に大学主催の学科説明会があり、総会はこちらが終了した後に開始となり、参加者が例年より減りましたが、昨年は申込予定数より参加者が27名と少なかったが、今年度は41名と増え、ご出席された各々が後援会活動に対して関心が高く、活発な議論が展開され議案はすべて承認されました。

以下の内容の通り報告いたします。

- ◎日時 平成25年4月6日(土)13:30～14:40
- ◎会場 北海道文教大学 本館2階 大講堂
- ◎参加者 参加者41名、委任14人(6人)1457人、役員5名(遠山会長、石山副会長、木村副会長、佐藤監査、武永監査)
- ◎議事 (1)平成24年度事業報告案について、(2)平成24年度決算報告案について、(3)平成25年度事業計画案について、(4)平成25年度予算案について、(5)北海道文教大学後援会会則の改定について、

### 「第1回役員会について」

以下の内容の通り報告いたします。  
◎日時 平成25年6月7日(金)18:10～19:45

- ◎会場 札幌グランドホテル別館4階(ひなげし)
- ◎参加者 後援会理事15人、学校理事4人 計19人 / 27人
- ◎次 第 1開会の辞、2後援会会長挨拶、3役員自己紹介(名簿順に出席者19人)、
- ◎議題 報告事項

(1)平成25年度北海道文教大学後援会について、(2)北海道文教大学後援会(慶中内規)について、(3)課外活動に対する助成について、(4)その他 特に見聞なし

### 審議事項

- ①役員選出における交代者の選出について(2)北海道文教大学後援会旅費内規の制定について(3)平成25年度北海道文教大学後援会事業等計画について検討。(4)キャンパスウォッチングについて(5)ワーキンググループメンバーの選任について(6)その他
- \* 大学側から後援会へ検討依頼あり。
- ②後援会文庫予算について
- ③学生指導助成予算について

### 「平成25年度 キャンパスウォッチングについて」

以下の内容の通り報告いたします。

- ◎日時 平成25年7月12日(金)12:00～14:50
- ◎会場 北海道文教大学本館(6号館)1階大会議室
- ◎出席者(後援会)
- 石山会長、藤田副会長、武永副会長、木村監査、大原監査、北林理事、田島理事、佐々木理事、村上理事(9人)
- (大 学) 浅見局長、荻根澤局次長、佐藤財務部長、曾我教授、大藤次長(6人)計14人

### ◎会長挨拶

後援会及び大学から多くの方々のご参加をいただき感謝しています。学生たちの様子を直に見学し、快適な環境に少しでも近づけるよう、キャンパスライフを応援します。必要なのがあれば、大学側と協議して設置するなどしていきたいと思えます。今、ここで学生達のために大学側と保われるのも、文教大学に入学してくる子どもたちがくれたプレゼントと思ひ、大学・学生・後援会が三位一体となつて、全ての事業を充実したものにしていきたいと思えます。

### ◎内容

①スケジュールの確認(1)学校側から後援会への要望提案(2)キャンパスウォッチング(3)報告会(4)伝達・確認事項(5)その他  
①学校側から後援会への要望提案あり  
パソコンやスマートフォンの所有率が90%を超えている。Wi-Fi環境を整えた。国家試験

対策など勉強や調査への支援のためだが、一方で情報管理の必要性あり、要検討とした。

- (2)キャンパスウォッチング(ルート)
- 本館6号館→展望茶室→鶴岡記念図書館
- 司書説明→学生食堂(昼食)→学生会館更衣室→2号館(作業療法学科)→3号館(理学療法学科)→体育館→サークル会館(学友会)→委員長挨拶→野外グラウンド→5号館(看護学科)→8号館(こども発達学科)→1号館(健康栄養学科)
- (3)報告会(参加役員より気づいたことなどを発表し、大学側との意見交換を行う。更衣室の通路やロッカーについて、広く学生たちからの意見を聞く「改善箱」や「投書箱」のかわりに一度アンケート調査を実施していること、きれいな環境、充実した設備のキャンパスで学生生活を送れる子どもたちの幸せ感、本事業に参加し役員をさせていただいたことや、誇りをもって受験を控える高校生やその保護者に文教大学を紹介したいと思う等の声が上がった。また、学生会館前(コンヒ二前)のイスの老朽化の改善や、野外のイスの増設、吹奏楽部の楽器の適切な管理、図書館や食堂など人の集まる場所にエアコンを設置等、前向きな意見が出された。

本事業については、大学施設及び学内における学生の様子を見聞き、知ることで、施設の利便性や問題点等について認識し事業計画に反映させることが目的であり、単に見学会という類いのものではないことを確認する。

- (4)伝達・確認事項、その他
- 今後のスケジュール
- 10月11日(金)10時～13日(日) 大学祭(恵庭キャンパス)
- 10月13日(日)10時、父母懇談会(恵庭)
- 11月10日(日)17時、第2回ワーキンググループ(札幌)
- 12月5日(木)18時、第2回後援会役員会(札幌)

以上、報告させて頂きましたが、目的とするところは冒頭にも述べましたように、本会報に会員の皆様へ後援会活動をお知らせしてご理解、ご協力を得ることにあります。是非、ご一読頂き後援会事業に対するご意見・ご要望をお寄せ下さい。それらを後援会事業に反映させて事業の活性化を図ってきたいと考えております。役員はそれぞれ仕事をもちながら後援会活動に従事していますので、活動に行き届かない点が多々あると思われま。機会があれば皆さんも一緒に後援会活動に参加してみませんか。なかなか役員の手がおりませんので、学生のために次年度に向けて是非ご検討いただければ幸いです。

最後に、会員の皆様には事情をご賢察の上、今後とも後援会活動への積極的なご参加となお一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

理事長・学長挨拶

地域コミュニティの  
知的人間的センターとしての  
大学づくり

学校法人鶴岡学園 理事長  
北海道文教大学 学長  
鈴木 武夫



後援会の会報の発刊も、十一号目を数えることとなり、この間の後援会の皆様の温かいご理解とご支援に對しまして、まずもって心から感謝申しあげます。

本学も開学以来十五年目を迎えました。このように順調な歩みを進めてこられましたのも、旺盛な気力で勉学を積み重ねる学生諸君の力、力強く支えてくださる保護者家族の皆様、真摯な努力を惜しまない教職員、そして大きく包み励ましてくださる地域社会の皆様という四つの力の総結集によるものであることを心に深く銘ずるものであります。

先の東日本大震災からの復興の過程におきましても、地域コミュニティの果たす役割が大きく再認識されているところであります。

地域コミュニティはそれぞれに特性を持ちながら解決すべき課題を抱えています。地域の新しい成長政策の模索、財政の健全化、少子高齢化、介護医療問題、住民福祉の未来的なデザインなどです。

その状況の中で地域の社会から地域に存在する大学への期待を集約してみます。

それは、①地域の総合的研究集団としての役割、②地域が高度情報社会に対応するための誘導的役割、③高度な知識技術の提供と人材育成の役割、④地域の知的コミュニティの交流の場としての役割などがあげら

れることでしょう。

本学はこれまでも社会人入学制度や科目等履修生制度によりリカレント教育の推進を図り、大学図書館等の大学施設を開放し、多岐にわたる公開講座の提供などを通じて地域社会の期待にできる限りに応える取組を積み重ねて参りました。

今後さらに地域との連携を強化し、地域の皆様に貢献する存在として評価されるためには次の観点が必要になるものと思われまます。

①知識移転・教育研究情報の発信推進のための組織体制の強化、②知的資源を地域に役立てるためのシステム化と技術指導方法の具現化、③地域自治体の政策立案や各種調査活動の双方向的な積極的展開、④開かれた大学として学生教職員が地域社会との連携と協力体制の強化に努める意識の推進、⑤地域社会との連携や協働を通して得た成果を互いに評価し合うことによつて互いの人間的成長を確認する姿勢などです。

地域の駅から真つ直ぐに進んで突き当たりに位置する本学は、地域コミュニティの知的人間的センターとして、地域社会に貢献し続けるミッションを担っていることを強く認識する次第であります。

平成25年度 北海道文教大学後援会役員名簿

幹事	幹事	幹事	幹事	会計	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	監査	監査	副会長	副会長	副会長	名誉会長	
大藤	佐藤	萩根	浅見	立谷	橘内	佐藤	齋藤	萩野	小笠原	後藤	四谷	中上	渋谷	北林	田島	佐々木	石黒	斎藤	村上	大原	武永	藤田	石山	鈴木
昭	幸一	則文	晴江	整	勇	進	弘明	克己	円	樹	治	伸	博子	啓	典子	育映	晶子	千賀子	伸子	奈津子	真	順子	武浩	武夫



就職課便り

今年度春卒業生就職結果と平成二十四年三月卒業生就職状況について

北海道内の今年度春卒業生大学生の三月末現在就職内定率は、前年同期比二・一ポイント増の八八・二％となり一九九四年以降三番目の高さとなりました。

就職者数は二万二〇一八人(うち道外は三七五五人)の最終結果となりました。

リーマンショック後の不景気から回復し、企業がこれまで控えていた新規採用を再開したのが一因と思われま。本学の対応は学生意識と共有した厳しい社会情勢・採用環境にあるとの認識からスタートし、最後まで一人一人の学生動向把握と数多くの面談及び学生個人の特性を生かした指導により高い就職率を維持することが出来ました。

北海道内私立大学の二〇一四年春卒業予定学生への広報活動解禁日は、前年度より2ヶ月繰り上がり二月一日から開始。北海道は前年度より早くなりましたが、これで全国の大学3年生が同時就職活動のスタートラインに立つことになりました。企業説明会会場ではスタート時期が統一され、本州企業の出展社数が増加し、北海道企業の採用活動も早まることになりました。企業説明会開催数は昨年に比べ増加傾向にあり、新規主催者及び説明会開催数の増加が見られました。一方、参加学生数については前半七月頃までは参加者減少傾向にありましたが、原因として全体会場数の増加、一会場当たりの参加者数の減少、ウェブエントリーの普及が考えられます。今後は地元大手企業の二次募集、中小企業の募集本格化による参加学生数の増加を見込んでいます。

国際言語学科の学生は応募企業の業界・職種は幅広く選択できる反面、学生自身の応募先決定については個人的希望やこだわりから、内定確定時期のばらつきがあります。今年は広報活動2ヶ月前倒し、採用人数若干増の影響から内定は各社早くなっている状況です。

健康栄養学科の学生は国家試験対策に集中している反面、給食委託企業各社の学内説明会などを皮きりに、例年に比べ早めの就職活動を開始しました。秋口にかけては、臨床・給食実習時期とかさなりませんが、引き続き情報提供、応募機会支援強化を図ります。

理学・作業療法学科の学生向け就職講座は三月

二十八日、二十九日開催、就職説明会は八月三十日に開催しました。両学科の就職活動は例年遅くなる傾向にあります。看護学科の学生向け就職講座は三月二十一日、四月二十五日に開催。内定状況については例年より早く、堅調に推移しています。

ことも発達学科の学生は今年が一期生の就職時期であり、幼稚園教諭・小学校教諭・保育士・特別支援学校教諭等の職種があり、就職活動時期は秋口から本格化します。

今年の特徴として留学生向けのイベント・交流会・説明会が複数開催されています。道内企業でも自社に必要とされる留学生に対しては、積極的な採用活動が見込まれます。

八月八日、九日には一般企業対象に未だ内定を貰っていない学生を対象に、学内内定獲得セミナーを開催。未内定学生の抱える課題を抽出し、学生個々の気付きを促すグループワーク方式を採用。参加者は課題を第三者と自分の目から再認識。就活再スタートに向けてモチベーションアップと自身の課題を明確に理解し再スタートしました。

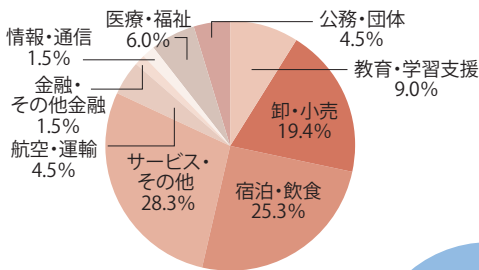
企業側の採用意欲が向上し、売り手市場の声もある中、いくつも内定がとれる学生と全くとれない学生との二極化の傾向があります。又、学生の安定志向が強まり、応募先は大手事業所、有名有力企業に集中して応募する傾向が見られましたが、就職活動中盤以降は合同企業説明会・セミナー！個人面接の経験により学生自身厳し就職活動に直面し、社会の荒波を肌で感じることに同時に社会に出て働くことの重要性を再認識しました。

当校では地元北海道に就職希望する学生は多くいますが、北海道本社企業の新卒用求人はこちらからが本番です。自分が本当に働きたい業種、必要とされる企業探しと同時に業界・企業分析をより深く検討することから、自分が出来る仕事内容の視点・範囲が広がり、結果として応募できる求人範囲が増加します。

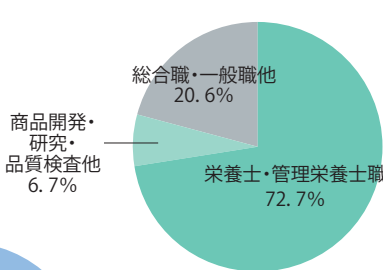
今年採用時期が早まると同時に採用数も増加している状況ですが、学生の就職活動は夏が過ぎるこれからは、心身共に疲労が溜まってくる時期でもあります。就職課としては一人一人の学生に沿った対応に心がけると共に、一緒に課題に取り組んでいく基本方針からも進路実現に向けて最後まで支援していきたくと考えています。

就職状況(学科別) 2013年5月1日現在

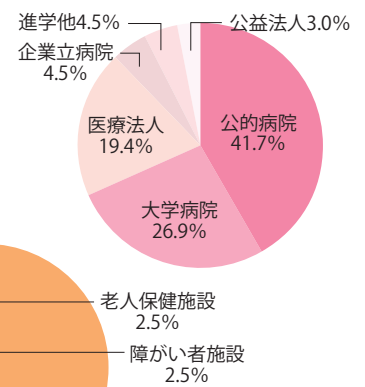
【外国語学部 96.4%】



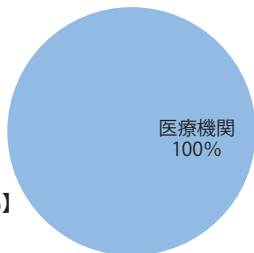
【健康栄養学科 97.6%】



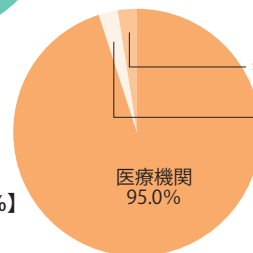
【看護学科 100%】



【作業療法学科 100%】



【理学療法学科 100%】



平成24年度 決算

<収入の部>

科 目	予算額	決算額	備 考
繰越金	¥8,869,145	¥8,869,145	
会費収入	¥34,650,000	¥36,184,500	16,500円×2,193人
雑収入	¥3,000	¥4,017	普通預金利息
合 計	¥43,522,145	¥45,057,662	

<支出の部>

科 目	予算額	決算額	備 考
1.事務費	¥700,000	¥321,150	
(1)通信費等	¥700,000	¥321,150	総会・役員会等案内状郵送
2.会議費	¥1,600,000	¥1,450,454	
(1)総会	¥600,000	¥576,329	総会費用・紅白饅頭(入学式)
(2)役員会費	¥1,000,000	¥874,125	役員会・交通費
3.事業費	¥27,300,000	¥25,625,816	
(1)学生活動助成	¥9,500,000	¥8,684,059	
(a)学生会助成	¥1,000,000	¥1,000,000	学生会助成
(b)文化・体育助成	¥7,500,000	¥6,684,059	サークル助成・吹奏楽部楽器購入
(c)各種行事助成費	¥1,000,000	¥1,000,000	大学祭・体育大会等助成
(2)「後援会文庫」整備費	¥4,000,000	¥4,000,000	書籍(問題集含む)の購入
(3)父母懇談会	¥800,000	¥770,600	大学祭模擬店食券助成
(4)卒業記念助成	¥3,000,000	¥2,943,370	卒業記念品・紅白饅頭
(5)「卒業祝賀会」費	¥4,000,000	¥3,948,122	卒業祝賀会費用
(6)就職活動助成	¥5,000,000	¥4,661,015	就職講座等
(7)広報費	¥800,000	¥588,650	会報2回
(8)慶弔費	¥200,000	¥30,000	香典
4.学生指導助成	¥4,000,000	¥3,063,240	学生指導助成
5.後援会活動調整基金	¥2,000,000	¥2,000,000	周年記念事業等
6.予備費	¥7,922,145	¥6,222,200	
(1)サカレ館ホール整備費		¥1,222,200	流し台等什器設備購入設置
(2)70周年記念事業特別積立金		¥5,000,000	学生会用ユニットハウス新設
合 計	¥43,522,145	¥38,682,860	

平成25年度 予算

<収入の部>

科 目	予算額	備 考
繰越金	¥6,374,802	
会費収入	¥37,125,000	16,500円×2,250人
雑収入	¥3,000	普通預金利息
合 計	¥43,502,802	

<支出の部>

科 目	予算額	備 考
1.事務費	¥500,000	
(1)通信費等	¥500,000	総会・役員会等案内状郵送
2.会議費	¥1,600,000	
(1)総会	¥600,000	総会費用・紅白饅頭
(2)役員会費	¥1,000,000	役員会・交通費
3.事業費	¥30,650,000	
(1)学生活動助成	¥11,500,000	
(a)学生会助成	¥1,000,000	学生会助成
(b)文化・体育助成	¥9,500,000	サークル助成
(c)各種行事助成費	¥1,000,000	大学祭・体育大会等行事助成
(2)「後援会文庫」整備費	¥4,000,000	書籍の購入
(3)父母懇談会	¥1,000,000	懇親会等助成
(4)卒業記念助成	¥3,650,000	卒業記念品・紅白饅頭
(5)「卒業祝賀会」費	¥4,500,000	卒業祝賀会費用
(6)就職活動助成	¥5,000,000	就職講座等
(7)広報費	¥800,000	会報(年2回)・広報活動
(8)慶弔費	¥200,000	香典
4.学生指導助成	¥4,500,000	2,000円×2,250人
5.後援会活動調整基金	¥2,000,000	周年記念事業等
6.予備費	¥4,252,802	
(1)サカレ館ホール整備費		
(2)70周年記念事業特別積立金		
合 計	¥43,502,802	

収入・現決算額 ¥45,057,662  
 支出・現決算額 ¥38,682,860  
 決算差異額 ¥6,374,802 (繰越額)

平成25年度  
後援会  
事業計画

平成25年4月6日	定期総会(入学式終了後)	平成25年12月5日(木)	第2回役員会(18時～ 札幌)
平成25年4月21日	第1回ワーキンググループ	平成26年2月	第3回ワーキンググループ
平成25年6月7日(金)	第1回役員会(18時～ 札幌)	平成26年3月	平成25年度学位記授与式記念品助成
平成25年7月12日(金)	キャンパスウォッチング(12時～ 恵庭)	平成26年3月	平成25年度卒業祝賀会及び同窓会入会式
平成25年10月11日(金)～平成25年10月13日(日)	大学祭(3日間)の助成	平成26年3月	監 査
平成25年10月	父母懇談会(恵庭キャンパス)助成 大学祭の期間に実施	平成26年3月	第3回役員会
平成25年10月下旬	中間監査		
平成25年11月10日(日)	第2回ワーキンググループ(17時～ 札幌)		



時間  
 十二日(土)十時～二十一時  
 十三日(日)十時～十九時三十分

場所  
 北海道文教大学  
 恵庭市黄金中央五丁目九六番地の1  
 0123(34)0011

日程  
 十月十一・十二・十三日(金・土・日)  
 ※一般公開は十月十三日(土・日)

北海道文教大学の大学祭は今年で十五回を数え、大学祭実行委員会は「紡ぎく今までとそしてこれから」をテーマに、今まで大学祭で得たものに新しい事を取り入れ、更なる一歩を踏み出していく。それとともに、様々な人と繋がり、その絆を紡ぐことでのからの大学祭に活かせるよう日々活動をしています。父母の方々、地域の方々、本学学生、大学祭に参加したすべての方が楽しい時間を過ごしていただきたいと考えております。お時間がありましたら、ぜひとも足を運んでいただき学生たちの活気に溢れた大学祭をご覧ください。心よりお待ちしております。

第十五回北海道文教大学大学祭「榮凜祭」